

東京
Freude

第24回
演奏会

東京フロイデ合唱団

管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団

ベートーヴェン 交響曲

第九「合唱」

指揮 小松 長生

合唱指導 富澤 裕

ロッシーニ：歌劇「セミラーミデ」序曲



©NIPPON COLUMBIA

ソプラノ
小林 沙羅

©Toru Hiraiwa

メゾソプラノ
林 美智子

テノール
福井 敬

バリトン
青山 貴

2024年 8月30日(金)

開演時間 19:00開演(18:00ロビー開場)

会場 東京芸術劇場コンサートホール

■チケット取り扱い・東京芸術劇場ボックスオフィス窓口 <https://tmt.pia.jp/>
・チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

5月14日(火)発売開始

■チケット料金(全席指定・税込)：S席 6,000円 A席 5,000円 B席 4,000円 C席 3,000円 D席 2,000円

■お問い合わせ 東京フロイデ合唱団 Tel 03-5940-0731(平日11:00~16:00) Fax 03-6304-1688
Mail freude@td6.so-net.ne.jp
H P <https://www.tokyofreude.org>



主催：一般社団法人 東京フロイデ合唱団 後援：東京都/豊島区/生活協同組合・東京高齢協

東京フロイデ

検索

団員への花束などの贈り物をご遠慮ください。受付でのお預かりもいたしません。

第47回国際連合の「国際高齢者年」の決議を機に「人生の完成期に生涯忘れられない感動を」と「東京高齢協合唱団」が設立され、1998年から毎年「第九」を歌って来ました。2006年には「東京フロイデ合唱団」と改称して、幅広い年齢層に参加を呼び掛けて演奏活動をしています。発足以来、初心者にも門戸を開いてきており、毎年「前年を超える演奏をしよう！」をスローガンに、世代を超えて共に「歓喜の歌」を響かせています。毎年の「国技館5000人の第九」への参加、2008年の「世界九条会議」(幕張メッセ)にも参加して多くの人々と合唱しており、歌を通じて世界平和を希求しています。オーケストラは日本フィルハーモニー交響楽団、指揮は外山雄三マエストロに長い間タクトを振って頂きましたが、現在は小松長生マエストロに指揮をお願いし、富澤裕先生の合唱指導、真形郊子先生のピアノ、辻端幹彦先生のヴォイストレーニングで一歩一歩合唱力を高めています。2021年11月1日一般社団法人になりました。



合唱指導
富澤 裕



ピアノ
真形 郊子



ヴォイストレーナー
辻端 幹彦

出演者紹介



©五味明憲

小松 長生 (指揮) Chosei KOMATSU, Conductor

福井県生まれ。東京藝大附属音楽高校入学辞退後、東京大学文学部美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒(音楽芸術学博士号)。エクソン国際指揮者コンクール優勝。キッチンナー・ウォーター交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、武生(たけふ)国際音楽祭音楽監督、リビウ国立歌劇場首席客演指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者、コスタリカ国立交響楽団芸術監督(現在同団桂冠指揮者)、セントラル愛知交響楽団音楽監督等を歴任。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、プラハ放送響、北ドイツフィル、ボリショイ劇場、キープ国立オペラ/バレエ、ソウルフィル、香港フィル、モスクワ放送響、ヴェネズエラ国立響、『東急ジルバスターコンサート』『題名のない音楽会』『NHK BS プレミアム』『NHKららクラシック』、TBS『砂の器』(千住明作曲、羽田健太郎/日本フィル)、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、釜山マル国際音楽祭、金沢『ガルガンチュア音楽祭』2019～などを指揮。2021年セントラル愛知交響楽団桂冠指揮者に就任。自作の『新福井県民歌』(三好達治作詞)を御前指揮。著書:「リーダーシップは『第九』に学べ」(日本経済新聞出版社)ほか。



©NIPPON COLUMBIA

小林 沙羅 (ソプラノ) Sara KOBAYASHI, Soprano

東京藝術大学及び同大学院修了。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。12年ブルガリア国立歌劇場『ジャンニ・スキッキ』で欧州デビュー。15年及び20年野田秀樹演出『フィガロの結婚』、17年藤原歌劇団『カルメン』、19年『ドン・ジョヴァンニ』、21年『夕鶴』、『千姫』、23年井上道義『降福からの道』、兵庫県立芸術文化センター『ドン・ジョヴァンニ』など話題作に続々出演。また、ソリストとして多くのオーケストラと共演。「日本の詩(うた)」等のアルバムもリリース。17年第27回出光音楽賞、19年第20回ホテルオークラ賞受賞。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。大阪芸術大学准教授。



©Toru Hiraiwa

林 美智子 (メゾソプラノ) Michiko HAYASHI, Mezzo Soprano

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演。ジョン・ミヨンフン、バーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラにも共演を重ね、最近ではモーツァルトの歌劇ダ・ポンテ三部作をプロデュースするなど人気、実力ともに群を抜くメゾ・ソプラノとして幅広く活躍している。大阪音楽大学特任准教授。〈公式HP〉<https://hayashimichiko.themedia.jp/>



福井 敬 (テノール) Kei FUKUI, Tenor

国立音楽大学卒業。同大学院及び文化庁オペラ研修所修了後、渡伊。二期会『ラ・ボエーム』ロドルフォでオペラデビュー後、『トゥーランドット』カラフ、『オテロ』『パルジファル』等の表題役で常に高い評価を得る。コンサートでも小澤征爾、Z.メータ等と共演、その輝かしい声と卓越した表現力で長きにわたり日本を代表するテノールとして活躍。23年、野村萬斎演出で話題を呼んだ『こうもり』アイゼンシュタインにて新たな一面を見せる演唱で、高い評価を得た。第65回芸術選奨文部科学大臣賞等受賞歴多数。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



青山 貴 (バリトン) Takashi AOYAMA, Baritone

東京藝術大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ及び新国立劇場オペラ研修所修了後、渡伊。二期会『ナブッコ』タイトルロール、日生劇場『魔笛』パパゲーノ、びわ湖ホール『ラインの黄金』&『ワルキューレ』ヴォータン、『ファルスタッフ』タイトルロールや、新制作で話題を呼んだ、新国立劇場『ニュルンベルクのマイスタージンガー』フリッツ・コートナー等で出演している他、昨年もびわ湖ホール『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ハンス・ザックス等で高い評価を得た。また「第九」「レクイエム」等のソリストとしても活躍。二期会会員。

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月に故渡邊暁雄を中心に創立。1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とする。質の高い音楽を届ける「オーケストラ・コンサート」、音楽との出会いを広げる「エデュケーション・プログラム」、音楽の力で様々なコミュニティに貢献する「リージョナル・アクティビティ(地域活動)」という三つの柱に加え、2011年の東日本大震災以来「被災地に音楽を」届ける活動を続けている。2023年9月より首席指揮者にカーチン・ウォンを迎え、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に、東京/横浜定期演奏会をはじめ、年間150回を超えるオーケストラ公演を行う。2026年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。「被災地に音楽を」は、2023年末には339回を超え、その活動が高い評価を受け、2022年第16回後藤新平賞を受賞。毎週水曜日22時54分～23時、BS朝日『Welcomeクラシック』出演中。ホームページ <https://japanphil.or.jp> 公式X(Twitter) @Japanphil

会場案内図

